

## 主な研究業績

種類	著書/論文/論題名	掲載誌巻号/ 発行者/学会名	発表 年月	備考/ 執筆ページ
<b>著書</b>				
共著	インテリアの地震対策	リバティ書房	1998年6月	第3章執筆および5～8章に関する実験の実施・取りまとめ
<b>論文</b>				
共著	古い在来軸組構法住宅の総合的な耐震性向上方策に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告第55号（構造系）	2016年3月	
共著	伝統構法による公会堂建築の耐震性能向上に関する研究 その2 格子壁の実験結果と全体に関する考察	日本建築学会九州支部研究報告第55号（構造系）	2016年3月	
共著	伝統構法による公会堂建築の耐震性能向上に関する研究 その1 実験計画と小屋組・床下の補強に関する実験結果	日本建築学会九州支部研究報告第55号（構造系）	2016年3月	
共著	格子を用いた伝統木造軸組の耐震性能に関する研究 その6 格子パネルを配置した軸組に適用可能な耐力評価手法の提案	日本建築学会九州支部研究報告第55号（構造系）	2016年3月	
共著	厚さの異なる落とし込み板壁の耐震性能に関する実験的研究	日本建築学会九州支部研究報告第55号（構造系）	2016年3月	
共著	きずり漆喰壁の耐震性能評価に関する実験的研究 その2 壁の構成方法が性能に及ぼす影響	日本建築学会九州支部研究報告第55号（構造系）	2016年3月	
共著	格子を用いた伝統木造軸組の耐震性能に関する研究（その5）格子耐力の算定およびその精度向上に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2015年3月	pp.681-684
共著	居住者のための木造住宅耐震補強法提案システムに関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2015年3月	pp.693-696
共著	格子を用いた伝統木造軸組の耐震性能に関する研究（その4）伝統的意匠と耐震性能を兼ね備えた格子の提案	日本建築学会九州支部研究報告	2015年3月	pp.681-684
共著	きずり漆喰壁の耐震性能評価に関する実験的研究	日本建築学会九州支部研究報告	2015年3月	pp.673-676
共著	木造住宅における軒のあおり防止のための垂木固定法に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2015年3月	pp.669-672
共著	静的実験による斜め貫を有する木造軸組の耐震性能評価（その7）斜め貫仕口部の耐力評価	日本建築学会九州支部研究報告	2014年3月	pp.645-648
共著	熊本地域における伝統構法木造建物の構造特性と耐震安全性評価（その2）農村型建築と漁村型建築における構造特性	日本建築学会九州支部研究報告	2014年3月	pp.641-644
共著	木造伝統構法による応急仮設住宅の計画と施工方法に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2014年3月	pp.637-640
共著	木造住宅の居住空間における畳の持つ性能の総合的評価	日本建築学会九州支部研究報告	2014年3月	pp.633-636
共著	静的実験による斜め貫を有する木造軸組の耐震性能評価（その6）斜め貫仕口部の性能向上	日本建築学会九州支部研究報告	2013年3月	pp.733-736
共著	伝統構法による仕口の性能評価と限界耐力計算法への適用	日本建築学会九州支部研究報告	2013年3月	pp.729-732
共著	拡張樹脂アンカー工法を用いた木質構造物の性能評価（その4）引張クリープ試験	日本建築学会九州支部研究報告	2013年3月	pp.693-696
共著	静的実験による斜め貫を有する木造軸組の耐震性能評価（その5）斜め貫仕口部の引抜き実験	日本建築学会九州支部研究報告	2012年3月	pp.617-620
共著	熊本地域における伝統構法木造建物の構造調査と耐震安全性評価（その1）熊本中心市街地における町家の構造特性	日本建築学会九州支部研究報告	2012年3月	pp.621-624
共著	格子を用いた伝統木造軸組の耐震性能に関する研究（その3 伝統的意匠を備えた格子の性能向上に関する検討）	日本建築学会九州支部研究報告	2011年3月	pp.685-688
共著	静的実験による斜め貫を有する木造軸組の耐震性能評価（その4 斜め貫仕口部の性能向上）	日本建築学会九州支部研究報告	2011年3月	pp.681-684

共著	様々なくさびを用いた貫構造に関する耐震性能評価	日本建築学会九州支部研究報告	2011年3月	pp.677-680
共著	居住者を主体とした木造住宅耐震性向上システムに関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2011年3月	pp.673-676
共著	拡張樹脂アンカー工法を用いた木質構造物の性能評価(その3)山形トラス・張弦梁・合成梁の構造特性	日本建築学会九州支部研究報告	2011年3月	pp.641-644
共著	拡張樹脂アンカー工法を用いた木質構造物の性能評価(その2)接合部の性能評価	日本建築学会九州支部研究報告	2011年3月	pp.637-640
共著	伝統構法住宅に適用可能な落とし込み板壁の開発に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2010年3月	pp.677-680
共著	静的実験による斜め貫を有する木造軸組の耐震性能評価(その3 丸込栓留め斜め貫の性能および既存の住宅への適用)	日本建築学会九州支部研究報告	2010年3月	pp.673-676
共著	静的実験に基づく足固め構法による伝統木造軸組の耐震性能評価	日本建築学会九州支部研究報告	2010年3月	pp.669-672
共著	拡張樹脂アンカー工法を用いた木質構造物の性能評価(その1 平行弦トラスの構造特性)	日本建築学会九州支部研究報告	2010年3月	pp.653-656
共著	杉板を用いた折り曲げアーチ架構の開発に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2009年3月	pp.629-640
共著	既存木造住宅の耐震性能向上に関する住民の意識調査(その2:4地域における住民意識の比較)	日本建築学会九州支部研究報告	2009年3月	pp.641-644
共著	格子を用いた伝統木造軸組の耐震性能に関する研究(その2:伝統的意匠を備えた格子の性能)	日本建築学会九州支部研究報告	2009年3月	pp.617-620
共著	静的実験による斜め貫を有する木造軸組の耐震性能評価(その2:込み栓留め斜め貫の性能)	日本建築学会九州支部研究報告	2009年3月	pp.613-616
共著	家具の振動実験結果に基づく室内被害の簡易評価に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2008年3月	pp.313-316
共著	静的実験に基づく足固め構法による伝統構法軸組の耐震性能評価	日本建築学会九州支部研究報告	2008年3月	pp.285-288
共著	静的実験による斜め貫を有する木造軸組の耐震性能評価	日本建築学会九州支部研究報告	2008年3月	pp.281-284
共著	格子を用いた伝統木造軸組の耐震性能に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2007年3月	pp.305-308
共著	既存木造住宅の耐震性向上に関する住民の意識調査	日本建築学会九州支部研究報告	2007年3月	pp.297-300
共著	地域性を考慮した木造住宅への限界耐力計算法の適用に関する研究	日本建築学会九州支部研究報告	2007年3月	pp.301-304
共著	2000年鳥取県西部地震における被災者の住宅復旧選択-統計資料とアンケート調査による要因分析-	自然災害科学、Vol.23, No.1	1905年6月	pp.49-64
共著	2000年鳥取県西部地震における木造建物の構造特性と被害	日本建築学会構造系論文集、No.574	2003年12月	pp.135-142
共著	伝統木造軸組の実大振動実験・静的水平力載荷実験	日本建築学会構造系論文集、No.574	2003年12月	pp.135-142
共著	伝統木造軸組の実大振動実験による柱-貫接合部のモーメント抵抗メカニズム	第11回日本地震工学シンポジウム論文集	2002年11月	
共著	伝統木造軸組の実大振動実験による動特性	第11回日本地震工学シンポジウム論文集	2002年11月	
共著	実大振動実験による軸組構法2階建木造住宅の動特性と耐震性能-筋かい付及び土壁付木造軸組の振動台実験-	第11回日本地震工学シンポジウム論文集	2002年11月	pp.1377-1382
共著	2000年鳥取県西部地震による被災住宅の復旧過程-日野町の調査から-	「木構造と木造文化の再構築を目指して」、日本建築学会	2002年3月	pp.314-329
共著	鳥取県西部地震における木造建物の被害と構造特性	「木構造と木造文化の再構築を目指して」、日本建築学会	2002年3月	pp.94-104
共著	あれから2年、住まいと暮らしは-鳥取県西部地震日野町震災シンポジウム2報告-(研究代表者:北原昭男)	自然災害科学、Vol.22, No.1	1905年6月	pp.5-48
共著	2000年鳥取県西部地震の地震動強さの評価	日本建築学会構造系論文集、No.458	2001年10月	pp.35-41

共著	実大振動台実験による木造軸組構造の強震応答特性	第4回都市直下地震災害総合シンポジウム論文集	1999年10月	pp.219-222
共著	1995年兵庫県南部地震による宝塚・芦屋における建物被害発生要因の分析	第10回日本地震工学シンポジウム論文集	1998年11月	pp.359-364
共著	3次元地震動の作用する多層立体鋼骨組の動的崩壊過程に関する研究	第10回日本地震工学シンポジウム論文集	1998年11月	pp.2529-2534
共著	都市域の地震被害分布の予測	日本建築学会大会災害部門パネルディスカッション「地震動の特性と建築物の被害—経験と予測—」資料	1998年9月	pp.31-38
共著	3次元地震動の作用する家具の振動性状に関する研究	日本建築学会近畿支部研究報告集	1998年7月	pp.221-224
共著	3次元地震動の作用する多層立体鋼骨組の振動台実験	日本建築学会近畿支部研究報告集	1998年7月	pp.217-220
共著	在来構法木造住宅の実大水平力載荷実験	日本建築学会構造系論文集、No.499	1997年9月	pp.69-76
共著	Risk Management for Future Urban Planning against Strong Earthquakes	Proc. for Sino-US Symposium on Post-Earthquake Rehabilitation and Reconstruction, Kunming, China	1995年5月	pp.116-128
共著	1994年北海道東方沖地震による建築物被害	京都大学防災研究所都市耐震センター研究報告, 第9号	1995年4月	pp.95-115
共著	常時微動計測による釧路市内の建築物の振動特性	京都大学防災研究所年報, 第38号B-1	1995年4月	pp. 27-42
共著	1993年釧路沖地震による室内被害の特性とその生活への影響	第9回日本地震工学シンポジウム論文集、Vol.1	1994年12月	pp.37-42
共著	地震時における構造被害・室内被害の分布特性およびその評価に関する研究	日本建築学会構造系論文集、No.548	1994年4月	pp.39-48
共著	Building and Indoor Damage Done by the 15 January 1993 Kushiro-Oki Earthquake	Proceedings of Third ROC and Japan Joint Seminar on Natural Hazards Mitigation, Tainan, Taiwan	1993年11月	pp. 357-371
共著	上海市域における組積造建造物の地震応答に関する研究	京都大学防災研究所都市耐震センター研究報告, 第7号	1993年4月	pp.59-79
共著	1989年ロマ・ブリエタ地震による震源付近の都市における建築物被害	日本建築学会構造系論文報告集, 第445号	1993年3月	pp.55-65
共著	Earthquake Response Analysis of Masonry Buildings in the City of Shanghai	"Seismic Risk Assessment of Urban Facilities in a Sedimentary Region", Final Report Part 3 (Edited by H. Kameda and Z. Zhang)	1993年3月	pp. 107-134
共著	建築構造物群の震害予測に関する研究	京都大学防災研究所都市耐震センター研究報告, 第5号	1991年4月	pp. 11-39
<b>学会発表</b>				
共著	表層を縦継ぎ単板で構成した構造用面材の釘接合性能	日本建築学会大会	2008年9月	pp.343-344
共著	伝統的な仕口を用いた斜め貫を有する木造軸組の耐震性能	日本建築学会大会	2008年9月	pp.23-24
共著	足固め構法による伝統木造軸組の水平力載荷実験	日本建築学会大会	2008年9月	pp.19-22

その他				
単著	地震と建築	鳥取県建築士会会誌「家」	2005年5月	pp.70-73
単著	鳥取市における木造家屋の耐震性評価	平成15年度鳥取市委託業務 研究成果報告書	2004年3月	